



2021年7月15日

各位

会社名株式会社 ココナラ  
代表者名 代表取締役社長 CEO 鈴木 歩  
(コード番号: 4176 東証マザーズ)  
問合わせ先 執行役員 CFO 中川 修平  
TEL. 03-6712-7771

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年7月15日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年3月19日に「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において開示いたしました2021年8月期の業績予想を以下の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年9月1日～2021年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,426	百万円 74	百万円 46	百万円 44	円 銭 2.13
今回修正予想 (B)	2,710	74	46	30	1.42
増減額 (B-A)	283	—	—	△14	
増減率 (%)	11.7	—	—	△32.4	
(参考) 前期実績 (2020年8月期)	1,775	△80	△83	△94	△4.59

#### 2. 修正の理由

営業収益につきましては、「ココナラ」事業の流通高が順調に推移したことから、前回公表の予想数値を上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、当第3四半期までの実績では前回公表の予想数値を上回るものの、当第4四半期会計期間におきまして、大規模なマーケティング投資により営業損失、経常損失の計上を予定していることから、当期の通期における予想数値の修正は行わないものとします。

当期純利益につきましては、2022年8月期以降におけるマーケティングへの投資規模を、前回公表時の想定を上回る規模とする方針に変更したことにより、当期末決算における繰延税金資産の回収可能性の見直しを行い、繰延税金資産を計上しないこととしたため、前回公表の予想数値を下回る見込みとなりました。

「ココナラ」事業は、事業フェーズとして成長段階にあること、また、事業規模の拡大が長期的な利益、キャッシュ・フロー、株主価値の拡大につながりやすい財務構造を有することから、中短期的には営業利益、

経常利益、当期純利益の計上を重視せず、効率的な財務構造及び財務規律は維持しながらも流通高、営業収益の拡大を優先する方針で事業運営を行なっております。かかる方針を踏まえ、特に、ユーザー層の拡大による購入UUの成長、及びUI、UXの改善やビジネスユーザー層の拡大を通した一人当たり購入額の成長を通して流通高を成長させていく予定です。そのため、当第4四半期に予定する大規模な投資に加え、2022年8月期以降においてもマーケティング投資を大幅に拡大し、また、主にプロダクト機能開発にかかる人材への投資についても継続する予定です。なお、流通高営業収益率については、流通高に占める各カテゴリの構成比の変化により多少変動することが想定されるものの、特別大きな変動を見込んでいないため、流通高の拡大に伴って営業収益が成長するものと見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上